

第28号

1993年10月10日発行
 社会福祉法人 友愛会
 大島保育所
 大島福祉学園
 友愛園
 南川福祉学園
 題字 理事長 角野元保

海清

楽しかった夏の思い出



海水浴!! (大島保育所)



うみ

わあ うみがひかっている。

きれい きれい

おほしさまみたいだね。

(大島保育所)

第11回 友愛会文化祭

パネル展・作品展示、即売

★期日 平成5年10月22日(金)午後1時から
10月24日(日)午後4時まで

★会場 大飯町総合町民センター
2階展示場

◇大島保育所

絵を描くという事は生きる事であるとおある人は言っていました。絵にはその子どもの姿が投影されます。線ののびやかさ、力強さ、緻密さ、全体の構図などからその子の心の中の内なる思いを感じ取ってもらえればと思います。

さて焼き物ですが、これは粘土遊びが大好きな4・5才児の作品。今回は本物のお皿作りに挑戦し大喜びでした。どれも個性あふれるすばらしい作品になりました。今度みんなでお料理を作って、このお皿に盛り付けて食べようと話し合っているところです。

最後は、5才児手作りのこののぼり。自分達で裁断をし、初めて針に糸を通して縫い、色付けをしたものです。5月一杯、保育所の空を遊々と泳ぎ回っていました。

◇大島福祉学園

陶芸班花瓶(竹、鶴首、丸えくぼ)とっくり(大、小)、場呑み、ぐい呑み、箸置き、干支置物など
〈陶芸班では、型を使用する鑄込み型やろくろを使った焼き物を作っています。〉

農耕班足マット、ティッシュBOX
野菜即売 〈私たちが精一杯にとり組んだ作品の数々です。いずれも販売しますのでよろしく。〉

軽作業班足マット、和紙作品(コースター、しおり、はがき)、貼り絵(花シリーズなど) 〈和紙作品は牛乳パックを再利用し、加工し作ったものです。〉

訓練班スキルスクリーン(イチゴ、ポトス、夕暮れ、なでしこ、くじら雲)、貼り絵(日本地図、福井県地図) 〈メンバー14名力を合わせて作った共同作品です。〉

◇友愛園

今回は、例年と違って作品展示が中心の文化祭に様変わりするということもあって、入居者の方々はいつも以上に作品の制作に力を入れていきます。

展示の作品は、生花クラブ、俳句クラブ、書道クラブ、冠句クラブの方々の日頃から努力に努力を重ねた力作を出展します。また、ステージ発表のかわりに友愛園としての作品を出展できればなあと現在、みんなで思案している最中です。

どの作品も力作ばかりですので、ぜひ、ご覧になって下さい。

◇南川福祉学園

今年の文化祭は作品展示を中心に行います。

各余暇グループが土・日の余暇指導の時間を利用して作った紙のれんや松ぼっくりを使っての作品など、どれも力作ばかりです。

パネル展示では、この1年間の子ども達の生き生きとした生活の様子を紹介したいと思います。

即売コーナーでは、作業訓練班のメンバーが、1本1本心を込めて編み上げた足マットを販売致します。

皆さんも是非一枚御買上げ下さいますようお願いいたします。

大島福祉学園

ほのほのこんさあと

日時 平成5年10月24日(日)
午後1時～4時

会場 大飯町総合町民センター

みなさまのお陰で10回を数えさ

せて頂いた学園祭りも、一応の区切りをつける運びとなりました。

しかし、地域の人たちやボランティアの方々との交流は、続けたいと強く願っております。

そこで、会場を大飯町総合町民センターに移した、ふれあいの場を計画しています。名称は“ほのほのこんさあと”と一新しました

が、内容は従来の学園祭り音楽会と同様に、ボランティアの方々、学園の発表などをメインにしたものです。

参加される誰もが、ほんのりと心が暖かくなるようにと、期待し取り組んでいますので、今後共より一層のご支援と当日はみなさまのご来場をお待ちしております。

あの人、この人に、 スポットライト

松尾俊明さん

南川福祉学園

8月10日で20才になった松尾俊明です。いよいよ僕も大人の仲間入り!!これからは作業班のリーダーとして、今まで以上にがんばりたいと思います。

作業班では、マット編みや畑作

業、箸箱作りを行っています。中でも畑作業は、暑くつらいけど野菜が大きくなり収穫できる時が、大変楽しみなのでつらい草取りもがんばっています。また収穫した野菜が、食事に使われていると本当にうれしいです。

今から成人式に出席できることを楽しみにしています。



大島保育所

今年の夏は、プールとセミ取りに夢中だった「加部道太くん」歌を歌うのが大好きで、新しい曲もリズム感と音感の良さで、すぐに覚え、楽しそうに口ずさんでいます。心やさしい男の子で、クラス

の子とも達ばかりでなく、年下の子ども達からも好かれています。

おしゃべりが好きな明るい女の子は「長井曜子ちゃん」お手伝いが大好きで、片付けや拭きそうじや草むしり、家の方でも皿洗いなどするようです。面倒見の良い子でもあり、小さな子ども達からは、頼りになるお姉さんと慕われ

ています。



池田芳子さん

友愛園

今回は、5月に入所された池田芳子さんです。

入所当時は、園の生活に戸惑っているようでしたが、今では、毎日、平行棒を使っての歩行訓練をがんばって行っています。慣れな

かった車いすの操作も日を追うごとに上達しています。

また、池田さんは持ち前のユニークな性格でいつもみんなを和やかな雰囲気にしてくれ、池田さんの周りは笑顔で満ちあふれています。

これからも、そのユーモアのある会話で、園に笑顔の花を咲かせ

てほしいものです。



藤本和代さん

大島福祉学園

和代さんの特技は、編み物です。暑い、暑い日でも、手糸を出してきて真剣に編んでいます。さて、何ができるのでしょうか。

手先が器用で、作業での足マット作りでも、黙々とひもを通して

います。きっちりとつめられ、時間はかかりますが、きれいな足マットが完成します。

食堂で、テレビを見ていたりする時には、皆と一緒に笑ったり、手をたたいたりして和やかに過ごしています。そんな時、輪の中にいない人をそっと手をつないで入れてくれたり、というやさしい心

づかいがみられ、ポカポカします。



ふるさと紹介

京都府綾部市

今井初枝さん

今回は、今井初枝さんのふるさとである京都府綾部市星原町を紹介します。



今井さんのふるすとは、山に囲まれた田んぼ・畑の豊かな町で、とても空気が澄みきっているそうです。町のお宮さんには公会堂があり、かくれんぼなどをして楽しく遊んだそうです。

また、隣町には、おなか痛の神様が奉ってある有名な高倉神社があり、夏の土用の丑の日には遠方からも多くの人が参拝におとずれ、大いにぎわうそうです。もし、機会があれば、皆さんも一度遊びに行かれてはと言っておられました。

しかし、この頃帰省すると、高速道路などが整備され、ずいぶん昔の面影がなくなったと少しさみしそうな様子もされました。

—くるまです少し前進—

福井県武生市

光川実治さん

うらはお盆に帰ったんやてえ。ほしたら雨ふってばっかりやった。うら日野山見るの好きなんやけど、きれいに見えなんだ。川は日野川や、よう遊んだ。魚釣っとる人がおったわ。



秋になったら菊人形やな。うらも見に行ったことある。ようけの花や。赤、白、黄…。美しいなあ。

日野山…越前富士と親しまれるこの山を平安朝の頃、武生に一時期住んだ紫式部は“ここにかく日野の杉むら 理む雪 大塩の松に けふやまがへる”と詠み讃えている。

武生菊人形…毎年恒例の催しは誕生以来40年を越える。10～11月の一ヶ月余り、美しい菊の数々が訪れた人々の目を楽しませてくれる。

—海とぼくらと—

福井県美浜町

常田定史さん

“定史ちゃん”の愛称で親しまれている常田君、笑顔が可愛く笑うと白い歯がキラリと輝いています。作業班では、手作業（角チリ折り・ゴミ袋折り・その他）で頑張っています。



常田君は、美浜町出身で山と海と湖に囲まれた環境の良い町です。美浜町と三方町をつないでいる五つの湖（久々子湖・日向湖・管湖・水月湖・三方湖）これを“三方五湖、”と呼び、この五つの湖を山から眺められる三方五湖レインボーラインは、いろいろな方角から五つの湖を見ることができます。頂上までいくと美しい五つの湖を一望することができます。春には雪溶けの山々、夏には美しい湖、秋には色づいた木々、冬には雪景色の中からの湖といったような季節おりりの湖が楽しめます。

—キリンさんからのメッセージ—

ピクニック

上中町瓜割の滝

国道27号線沿いの上中町天徳寺に名水公園瓜割の滝があります。名水百選でもあるこの水は、夏でもとても冷たく、水に入れていた

瓜が割れたという事から瓜割の滝といい、清水の中には珍しい紅藻類が生育しており、赤色をした石を見ることができます。

回り一面に杉の木がはえていて真夏でもとても涼しく、ひんやりとしています。美しく豊かにせせらぐ清水の音を聞きながら、緑の中に立っていると、違う世界にきたような気分になり、心をなごま

せてくれます。

8月の2日間名水まつりが開かれ、バーベキュー大会や名水でたてた抹茶を味わえる名水茶会、流しそうめん大会などが行われ歩道いっばいに長蛇の列ができるほどの賑わいぶりです。

瓜割の滝の周辺につくられた名水公園も、来訪者の憩いの場として愛されています。

みんなの声 — 友愛会役員・職員 —

友愛会理事

桑田宗典

昨年度より社会福祉法人、友愛会の理事に選任されましたが、浅学菲才な私であり、先輩理事諸氏のご指導ご鞭撻をあおぎ、職を勤めてまいりたいと存じます。

さて、我が国は世界に例を見ない急激な高齢化が進行しつつあって、今日“高齢者保健福祉推進十ヶ年戦略”の策定により、その具体策が着々と進められてきております折、我々福祉に携わる者として21世紀に向けて、高齢者福祉はもとより、障害者、児童福祉など一つひとつ福祉に精通しなければなりません。

在宅福祉サービスと施設福祉サービスが、きめ細かく一元的かつ計画的にサービスの提供が進められつつあり、私たち法人は一丸となり福祉に取り組まなければなりません。

しかしながら、社会福祉と言いましても、今日の複雑多岐にわたっているため、更に自己研鑽を重ねていかなければなりません。皆さん心して福祉をやりぬこうではありませんか。

南川福祉学園保母

泉本西実

早いものでこの仕事についてから3年5ヶ月が経ちました。

3年目が過ぎようとしているある日のこと、いつもと同じように子ども達と接していました。毎日毎日、同じことのくり返し、昨日までの私ならそれで済んでいたか

もしれません。けれどその日は、子どもの気持ちが理解できず、私の気持ちをも子どもが理解してくれず、泣きながら指導していました。

そんなことがキッカケとなり、少しづつではありますが仕事に対しての気持ち、子ども達への接し方が自分なりに見い出せたような気がします。ある先生に“三年経って初めてこの仕事の意味が分かる、”と言われました。

私は、これからも頑張っって子ども達と接していきたいです。

大島福祉学園生活指導員

中野晴美

私が、学園に勤めて7年を過ぎようとしています。年々、私たちに求められている役割の大きさを感じながらも、私の未熟さを痛感します。まだまだ、私の中にこの人たちとは違うのだという意識が存在していることは、正直なところ事実です。

施設の生活は、職員の意識、考え方で利用者にとって随分住み良い所、意義のある所が変わるということを充分認識し、利用者が本当に求めているもの、本当に必要なことを理解した上で人間関係を深めていくことが大切です。

これからも、利用者の暮らしが少しでも豊かになるように一緒に考え、悩み、努力し、共に成長していきたいです。

友愛園寮母

高田ひとみ

私がこの友愛園に勤務してからもう10余年という年月が過ぎました。この年月は、私にとっては長

くもあり、短くもありました。

ところで、この間、友愛園をとりにく環境もいろいろな面で大きく変わりました。しかし、環境がどんなに変わっても、施設においては、やはり入居者との心のつながりが大切であると感じます。心がつながっていなければ、入居者にとって最善の介護というものはいかないのです。心のつながりは、何をするにも、重要な役割をはたすのです。このことは今までの経験で本当に痛感しました。

介護に関わる者として、入居者の心をしっかりとつかみ、最善の介護が出来るよう、これからも努力していきたいと思います。

大島保育所保母

柿本一美

この仕事につき早4年が過ぎましたが、保母として未熟な私です。失敗して落ち込んでいる時、それを察したように「先生遊ぼ」と、子どもたちが言ってくれ助かった事がたびたびあります。どんなに疲れていても、子どもの笑顔や優しい言葉を聞くとそれがパワーになり頑張れるすごい力をあたえてくれます。

自分のお弁当の準備ができないのに、友達のほし箱を必死にあげてあげている子どもを見て、一方では「思いやりの気持ちを」と掲げているが、つい「自分のしてから」と声を掛けてしまいがちな私。自分の中で忘れかけている心と呼び戻してくれる子どもに生きがいを感じます。子どもたちに感謝しつつ、保母になって本当によかったと実感しています。

なつ・あき それぞれのすごしかた

びわのみ

川遊び



8月27日、月組さんに乗せたマイクロバスは、一路名田庄の川へと向かって出発しました。

川へ着くとお弁当を食べるのもそこに水着に着替えて、川へザボン/魚をつかまえたり、流れを石でせき止めたり、泳いだりと楽しい一日を過ごしました。

おとまり保育

8月6・7日、月組さんがお泊り保育をしました。カレーライスを自分たちで作って食べたり、きもだめしを行い、楽しくちょっぴり怖いひとときを過ごしました。



次の日は、塩浜海水浴場で水しぶきと歓声をあげ楽しみにしていたおとまり保育は幕を閉じました。



キリンさんからのメッセージ

プールあそび

日射しが眩しい夏と裏腹に、秋を思わせるような涼しい夏、楽しみは何んと言っても「プール遊び」。今年は、水着も新しくなり子ども達も楽しみにしていたにもかかわらず水温も低く、日照時間が少ないため数えるほどしかプールの中に入ることができず子ども達の満足気な、よろこびは今ひとつでした。



県スポーツ大会



去る9月8日、福井県心身障害者スポーツ大会が武生市で行われました。今年は南川福祉学園も独自で参加することになり、みんな、練習にも頑張りました。

くるまいす少し前進!



今年も友愛園のメイン行事の一つである納涼祭が盛大に行われました。

その日はあいにく雨の確立80%。しかし、みんなの願いが通じたのか、夕方には晴れ間も顔をのぞかせ安心。地域の方々と一緒になって、涼しい夏の温かい思い出をつくりました。



海とぼくらと



まっ青な海が、一段と映える季節です。

浜清掃を皮切りに、海水浴やハイキングなどの園から出での活動も多くなり、色とりどりの野菜や花の収穫にも汗して、まっくろに日焼したみんなの顔がとてもさわやかな季節でもあります。

ふれあいメッセージ

中名田冠句会

木崎政則さん

思えば私達が冠句等を通じ大変お世話になっております友愛園が緑豊かな山峡の地、流れも清き南川の辺り田茂谷地域に開設されてより早や10有余年、爾来歴代園長様はじめ関係各位の日夜を分たぬご苦勞とご努力により営々として今日に及びなお寮生一同の一致団結、社会への参加を目指すあらゆる面への旺盛なる活動により園の発展向上に力強い歩みと前進を続けられ、今こうした立派な福祉施

設として迎えられましたことを心からお喜びを申し上げるものでございます。

扱て愚かながら不肖冠句を好むものとして友愛園開設後間もなく当時の園内関係各位のご理解とご協力を得て、地元冠句作家はもちろぬ園の職員、寮生各位の参加を得まして中名田地区月例冠句会なるものが発足し、本年2月には第百回という素晴らしい記念すべき大会輯となったのです。こうした発展は園内の皆様、特にこの道に精進された寮生諸君の熱意ある努力の賜であります。今静かに当初を思い浮く見るときに果してこの冠句会が続けられるだろうか、や

や不安な感も致しましたが、今日着実に上達の一途を辿られつつあることに心から讃辞を惜まぬものであります。

今後一層幅広い交流を重ね研鑽を積み生涯のよりどころとして楽しい毎日を送れますよう希望致します。





(5月～8月)

◆友愛会

✧寄付

寄付金…小畑正樹

◆大島福祉学園

✧奉仕・交流

三国町民生委員婦人部

立成佼成会青年部

大島漁村婦人部

大飯町赤十字奉仕団

大飯町青年団

つばさの会

高浜町ボランティアの会

気山16ミリ映画を愛する会

岡崎弘明(正視堂)

高浜3Gコンサート実行委員会

✧寄付

寄付金…金津町民生委員協議会

バジャマ

…サンコー繊維工業

日用品…ソロブチニスト若狭

さざえ…松本(大島宮留)

◆友愛園

✧奉仕・交流

中名田冠句会

猿橋統流子

買物ボランティア

立正佼成会

小浜市モラロジー

若狭東高校

JRC

森順三

楽団わかさ

✧寄付

衣類…サンマリン

◆南川福祉学園

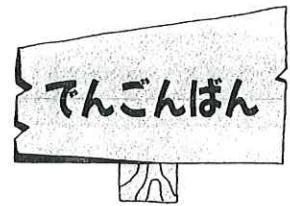
✧寄付

ケーキ…西谷征二

ライト…市役所広報課

日用品…福井銀行

(敬称は略させていただきます。)



♥退職

次の方が退職されました。ごろうさまでした。

本田信子(南川福祉学園)

…7月31日付

(敬称略)

♥後援会員を募集中

友愛会の福祉活動を育成援助することを目的に、今年度も後援会員を募っています。

文化祭や広報「海清」の発行などにも役立てられます。

みなさんの温かいご支援をお願いします。

編集後記

今年は30数年振りの天候不順となり、自然界にとっても大変な暴狂わせの冷夏でした。その影響を受けてか秋の過ぎさるのが早く感じられます。

「海清」第28号をお届けします。

経済大国・日本というイメージを報道より毎日聞かされていたのが、最近是不景気だリストラだと私たちの知らないところで、おつりだけはいつもいただいているのではないのでしょうか。表日本と裏日本、産業経済圏と第一次中心圏言葉だけは変わっても、実際には障害をもつ人も同じ目に合っているでしょう。(谷口)



ありがとう
ございました。

コレクトルーム



ノーマライゼーション

ノーマライゼーションはリハビリテーションと並んで、障害者福祉の理念として重要なものの一つに挙げられます。

この理念はデンマークの知的障害者の親の会から生まれたもので

あり、社会のなかで障害者をもっぱら保護の対象として特別視したりするのではなく、障害者が社会の一構成員としてあたりまえの人間として扱われ、障害の有無にかかわらず対等の権利と義務を担って生きようとするものなのです。

今日では、我が国においても大きな影響を与え、障害者福祉の基本的な理念として定着しつつあります。

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6

大島福祉学園内

広報「海清」編集部

〒919-21 ☎0770(77)0185